

1月28日

三橋農園で、立派に育った三浦大根の収穫をしました。

9月30日に、小さな小さな種を植えてから約4か月経ち、子どもたちが両手で抱えきれないほどの大きさに生長しました。収穫の喜びに溢れた笑顔で、大切に学校まで持ち帰りました。

学校に戻ると、大根をじっくり観察して思い思いの絵を描いたり、詩で表現したりしました。どちらも「自分のだいこん」への愛情が伝わる素敵な作品になりました。



学校では、子どもたちが選んだ植木鉢で冬野菜を育てました。

5種類の冬野菜の中から1種類を選び、地域の方にいただいた「まほうの土」に種を植えて、生長を見守りました。日光が当たる場所に植木鉢を移動させたり、土の状態に合わせて水やりをしたりして工夫するほど愛着をもって育てました。

「これがおもしろそう！」と選びながら収穫し、自慢の冬野菜を「家族に食べさせてあげたい！」と大切に持ち帰りました。

3月10日

大根や冬野菜を育てる経験を通して、野菜の育て方、収穫の喜びのほかにも、地域の方の優しさや、その方の野菜に対する愛情に気づいた子どもたちは、改めて地域の方へ感謝の気持ちが大きくなりました。その思いを伝えたいと、実行委員を中心に企画した感謝を伝える会をしました。子どもたちが一生懸命に作ったカードをプレゼントでき、満足した活動になったようです。

植木鉢のご協力など、
どうもありがとうございました。



(1組久野 2組松木)